

分野	テーマ	現状・課題	分野別の目指す将来像	目指す将来像を実現するために必要な取り組み	
				既存の取り組み	話し合いの場でも出された意見(一部抜粋)
人・地域のつながり	<ul style="list-style-type: none"> ■地域のつながり ■人口・若者増 ■イベント 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の参加者が同じ(若者の参加が少ない) ・自治会・婦人会組織の高齢化 ・後継者の人材不足 	(地域のつながり) 子どもからお年寄りまで(伊王島全体で)楽しめる伊王島		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで気楽に参加できるイベントを考える(花見・盆踊り・もちつき大会・カラオケ大会など) ・4地区合同で楽しめる活動を検討する。 ・フォトコンテストを開催する ・集まりやすい年代(10代～20代、30代～40代、50代～60代など)や話が合う者同士の交流の場をつくる ・朝市の開催に合わせ、フリーマーケットを実施する ・地域の企業や老人福祉施設の協力を得て、祭りなどで地域の交流を深める
	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢化 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物弱者が増えていく ・介護者も高齢者 ・高齢者世帯がいるのかいないのか分からない(塩町アパートなど) ・災害時など、世帯把握が困難。(避難救助が必要な世帯など) ・家族が安心して任せられる場所・施設が少ない ・坂道、狭い道、階段などバリアフリー化が必要だが、難しい 	(高齢者福祉) 多年齢層がつながる伊王島	<ul style="list-style-type: none"> ・店で電話対応している(買い物) ・生活館の開放 ・独居老人への声かけ(消防団 年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政からの高齢者支援につながる資料提供を受け、ハザードマップを作るなど、地域で情報共有をする。 ・生きがい作り(集まれる場所、仕事への提供など) ・行事などの伝心伝承などで横のつながりを作っていく ・チーム分けして、ゴミ拾い(町全体)を行う。量の多いチームには景品を⇒多世代交流できる ・ゴミ収集日などに井戸端会議などできたらいい ・子どもの登校時の安全見守りを行う ・階段などを安全に昇れるものを無料で提供する(しよいこ など) ・喫茶店などを施設の隣に作る
	<ul style="list-style-type: none"> ■子育て ■教育 ■遊び場 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園が少ない ・子どもたちが集まる場所が少なくなっている ・自然豊かだが子どもだけで遊ばせることが危険(イノシシ・ハチ・ヘビ・不審者・観光客) ・子供たちだけで通れる道が少なく安心して過ごせない(草が生い茂っていたりして子供達を通るには安全性が低い) ・子どもが増えない ・自転車 ・交流する場が少ない 	(子ども・子育て) 子育てしたくなるようなまち伊王島	<ul style="list-style-type: none"> 図書館がヴィラオリンピカから地域センターへ移転した ・アンヘル事業(子育て教室) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが集まりやすいイベントをみんなで企画する ・子供が集まりやすい場所をつくる ・教会下や新和商事跡、商店街のスペースの利用(広場として整備)するため事業者へ協力依頼をする ・大明寺生活館のスペースを利用(広場として利用)するため事業者へ協力依頼をする ・パソコン教室、運動クラブ、子ども料理教室などを行う。 ・コンビニがほしい ・子どもたちが安心して通れる道や環境を作る(草刈、清掃) ・伊王島独自の特典をつくる ・動物園がほしい
自然環境 生活・	<ul style="list-style-type: none"> ■空き家 ■地域清掃 ■イノシシ ■自然・景色 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧小学校校舎の活用ができていない ・ウニ、ガンガゼによる磯焼け ・イノシシによる被害 ・塩町団地にエレベーターがない ・空家を活用・管理できていない ・バス、船の便が少ない ・車・バイクの騒音(マナー) 	自然は残しつつ安心安全に住み続けられる伊王島	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ、タヌキ対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧小学校校舎の解体後の活用について検討する。 ・漁協と協力して海の環境保全を行う ・草刈りなどを地域で分担して行う ・きちんとした土地の管理を行う
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ■交通安全 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通量が増え事故が心配 ・自転車が危ない ・道路の真ん中を走っている ・子どもを先に行かせて、大人が後から来ていることが多い(子どもが危ない) ・家族で夜遅くまで(10時過ぎ)乗っていることがある ・車でゆっくり走っていても目の前で転倒されたことがある ・空き家が多い(火災が心配) ・空き巣が心配(昼間に人が無い) ・災害時の避難が心配(一人暮らしの高齢者が多い) ・地区ごとにはあるが、いざという時に避難できるか分からない ・自宅に防災グッズを備える必要がある ・崖崩れが心配 ・アパートの避難口の点検をしていない ・はしごがない(現状、飛び降りないといけない) ・火災が起きた時、消火栓が近くにない場所があるので心配 	のんびり走ろう伊王島～ささえ合う・助け合う・声かけ合う地域～	<ul style="list-style-type: none"> ・道路に自転車ゾーンがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通マナーの徹底 ・防犯カメラの設置を自治会に相談する。 ・空き家を若い人(世帯)に安くで提供する仕組みをつくる ・空き家をカフェなどに活用する ・災害マニュアルの作成 ・防災訓練 ・防災グッズを自治会長宅や生活館などに置く
文化産業 観光・	<ul style="list-style-type: none"> ■観光客のマナー ■お店・買い物 ■名物 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「伊王島」の知名度が低い ・地域イベントが少ない ・地域イベントの周知ができていない ・観光客のマナーが悪い 	誰もが知っている伊王島をつくらう!! ～温泉・観光・歴史・人情の島～	<ul style="list-style-type: none"> ・太鼓 ・ぼんとう 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊王島の「日本一」を考える ・史跡を整備し、PRする ・防災無線でイベント等の周知を行う ・年代ごとの広報戦略を考える ・観光スポットや歴史などをひとつにまとめたマップを作る ・地域で協力し名産品をつくる ・SNS(インスタなど)を活用する ・地域イベントをたくさん開催する ・教会内の見学ができるとう良い